

平成30年度 第2回石狩市文化財保護審議会

日時：平成31年 3月 5日（水）13：00～

会場：石狩市民図書館 第1研修室

【日程】

1. 会長あいさつ
2. 報告事項
平成30年度文化財保護事業について
 - ①資料館事業について
 - ②研究活動の状況について
 - ③文化財関連事業について
3. その他

いしかいの教育は
「こんにちほ」から始めます。



石狩市教育委員会

※上の絵は、手話で「こんにちほ」を表しています。

文化財保護審議会委員名簿

(2018年5月15日現在)

No.	役職	氏名	性別	所属等
1	会長	村山 耀一	男	石狩市郷土研究会 会長
2	副会長	百瀬 響	女	北海道教育大学札幌校教授(文化人類学)
3	委員	鈴木 明彦	男	北海道教育大学札幌校教授 (古生物学、漂着物学、理科教育)
4	委員	三浦 泰之	男	北海道博物館総務部企画グループ学芸主幹 (北海道史)
5	委員	坂梨 夏代	女	札幌国際大学准教授(考古学)
6	委員	加藤 和子	女	いしかり砂丘の風資料館ボランティア 「砂丘の風の会」代表
7	委員	長 良幸	男	(公募)
8	委員	若林 真紀子	女	(公募)

※・定数(石狩市文化財保護条例施行規則第2条第1項) 8名

・任期(石狩市文化財保護条例施行規則第2条第2項) 2年間

2. 報告事項 平成30年度文化財保護事業について

①資料館事業について

■資料館入館者数（平成30年4月～平成31年1月末現在）

いしかり砂丘の風資料館	1,857人
はまます郷土資料館	482人

■団体の来館利用

学校関係	11件
公共機関	5件
その他	8件
計	24件

■講座（別紙1参照）

体験講座	3件
野外講座	3件
講演・トーク等	2件（3回）
計	8件（9回）

■展示（別紙1参照）

テーマ展等	4件
-------	----

■石狩紅葉山49号遺跡を活用した出張授業等

緑苑台小学校・出張授業 平成30年6月12日（火）

第4学年／総合的な学習の時間「わたしたちの住む 石狩市」の学習で
石狩紅葉山49号遺跡について学ぶ

・出張展示 6月11日（月）から6月15日（金）まで

石狩紅葉山49号遺跡からみつかった縄文時代の暮らしと道具

■資料館だより「エスチュアリ」刊行

石狩市や石狩周辺の歴史と自然に関する話題、展示資料にまつわる話、調査研究の速報などを掲載。資料館・図書館等で配布・ホームページに掲載（PDF版）

No.57～58（予定）（平成30年度）

■資料館ホームページ公開

開館情報、講座・展示のお知らせ、その他トピック等の情報発信
9回更新（平成30年度、2月末現在）

■ ボランティアの育成、活動の推進

いしかり砂丘の風の会（6人、随時）

資料館の展示解説、講座の補助、勾玉造り講座の開催など

石狩ファイル編集委員会（5人、編集会議4回／年）

石狩ファイルのテーマ選定、執筆、編集

ホネボラ（骨格標本製作ボランティア）（8人、随時）

石狩の脊椎動物（主に海生哺乳類）の死体を処理し、骨格標本を製作する。

プロジェクトM（15人、月1回程度定期的で開催）

・新たな「石狩遺産」の選定

平成30年11月17日開催のプロジェクトM石狩遺産シンポジウムで以下の2件が新たな石狩遺産として認定された。

・石狩遺産第007号 石狩灯台と周辺の風景

・石狩遺産第008号 花川地区の土地利用の変遷をあらわす遺産群

・「石狩遺産」をめぐるツアーの企画

昨年度認定された防風林のスタディーツアーを実施予定だったが悪天候のため中止

・イベント「知ってる？」石狩遺産！やってみる？遺産検定！」（3/23開催予定）

「石狩遺産検定」の試行。遺産8件から3件を選び、解説の後、問題を解いてもらう。

■ 他施設・他市町村等との連携活動

いしかり館ネットワーク

市の社会教育関連4施設が連携し、よりよい学習機会・情報の提供等を通してまちづくりを進めていくことを目的とする。

加入施設：石狩市民図書館、石狩浜海浜植物保護センター、石狩市公民館

CISE（ちせ）ネットワーク

科学系博物館・図書館の連携による実物科学教育の推進のためのネットワーク。札幌周辺地域（札幌市、石狩市、小樽市、北広島市）の教育施設が連携し、実物科学教育を進める。

主な加入施設等：北海道博物館、円山動物園、札幌市中央図書館、おたる水族館、北広島市エコミュージアムセンター、石狩浜海浜植物保護センター、他

事務局：北海道大学総合博物館

・テーマのもとに各施設の講座を受講していく「サイエンスターリング」の連携講座を開催（サケコース、恐竜コース）。

・「サイエンスフェスティバル」に出展（1/13・14 北海道大学総合博物館）。

ストランディングネットワーク北海道

北海道内における鯨類の座礁・漂着・混獲（ストランディング）調査の重要性を啓発し、その情報と標本を広く収集して一般市民・学術研究者に公表・配分することにより、海洋と鯨類に関する啓発と理解を深める。

主な加入施設等：酪農学園大学、帯広畜産大学、北海道博物館、国立科学博物館、他

事務局：北海道大学大学院水産科学研究院

・ストランディング試料採取、情報提供（ネズミイルカ、ミンククジラ等4件）。

・標本の寄贈を受ける（セミクジラのヒゲ板）。

北海道縄文のまち連絡会

全道の縄文遺跡のあるまちが集い、共に協力しながら縄文に学び、縄文の知恵を活かしたまちづくり策を探る。

主な加盟自治体：全道27市町村 事務局：伊達市

連携事業

2018.06.02. 考古学カフェ（札幌駅地下歩行空間）出展

2019.02.05～10 縄文雪祭り（道庁赤レンカ）出展

■報道等（記事掲載、放送）（別紙2参照）

テレビ、新聞等21件

■紀要の刊行 第9巻 2019年3月発行予定

■はまます郷土資料館について

－昨年9月の浜益地区の集中豪雨による土砂流入被害を受け休館していたが、昨年7月で改修工事がすべて終了し、昨年8月10日に再オープンとなった。

再オープンにあたって展示のレイアウトを一部変更し、無料開放（8月15日迄）や、かつてニシン漁で使っていた道具を使った体験事業を行った。

■道の駅石狩「あいろーど厚田」展示スペースのオープンについて

昨年4月にオープンした道の駅「あいろーど厚田」の2階部分の展示スペースについて、厚田地区の自然・歴史がわかるコーナーを設置し、石狩市指定文化財である古潭龍澤寺の鰐口（平成28年10月27日 石狩市指定文化財第9号）を展示している。

②研究活動の状況について

■広報いしかり連載「いしかり博物誌」（隔月連載、第155-160回）

155. お奉行さまのランプ（工藤）

156. 弁財船が運んだ徳利（石橋）

番外. 石狩浜の「無辜の民」（工藤）

157. 1989年厚田の夜空の“赤い光”（志賀）

158. 土蔵に眠るお札（坂本）

159. 9.5ミリフィルムが語る90年前の石狩（工藤）

160. 白磁徳利・古代鮭漁遺跡・鮭恵比寿（石橋）

■研究成果の公開

学会発表等

志賀健司, 2018. アオイガイ漂着は10年スケールの海洋変動を反映するか?, 日本地質学会第125年学術大会（2018年9月 北海道大学）

岩澤孝子・百瀬響・坂本恵衣, 2018. アイヌ古式舞踊の記録と伝承. 第70回舞踊学会大会（2018年12月 お茶の水女子大学）

志賀健司・坂本恵衣, 2019. 石狩市厚田で御神体となっていたセグロウミヘビ. 北海道自然史研究会 2018 年度大会 (2019 年 2 月 北海道大学総合博物館)

志賀健司, 2019. (予定) 石狩浜に見られる鯨類ストランディング～海から陸への物質輸送～. 石狩川流域湿地・水辺・海岸ネットワーク第3回フォーラム (2019 年 3 月 札幌)

その他

■コラム

志賀健司, 2018. 太平洋の北西端を揺さぶる数十年間隔の“波”. コラムリレー第1回, 北海道博物館協会学芸職員部会ホームページ.

坂本恵衣, 2018. 「祈り」の化石一寺社に託された「龍神様」一. コラムリレー第4回, 北海道博物館協会学芸職員部会ホームページ.

荒山千恵, 2018. 描かれた「テンキ」・残された「テンキ」一明治前後にみるハマニンニク製の小物入れ一. コラムリレー第26回, 北海道博物館協会学芸職員部会ホームページ.

■講師派遣等

2018.04.～09 札幌国際大学人文学部講座「博物館資料論」(工藤)

2018.06.06 「厚田の自然史」(厚田地域振興課、野外観察指導等)(志賀)

2018.06.12 出張授業「石狩紅葉山49号遺跡を学ぶ」緑苑台小学校(工藤)

2018.07.03・10 「増毛山地の成り立ち」(北海道留萌振興局、場所：浜益小学校・増毛中学校)(志賀)

2018.08.01 石狩市教職員サマーセミナー「石狩歴史ヒストリア in 厚田」(工藤)

2018.08.04 地層観察・化石採集(厚田地域振興課、望来海岸)(志賀)

2018.08.18 地層観察・化石採集(いしかり海辺ファンクラブ、望来海岸)(志賀)

2018.08.29 早稲田大学エクステンションセンター トラベルスタディプログラムに伴う石狩紅葉山49号遺跡等展示見学およびミニ講演(荒山、石橋)
場所：いしかり砂丘の風資料館ほか

2018.09～2018.01.

札幌国際大学人文学部講座「博物館資料保存論」(志賀)

2018.09.19 地層観察・化石採集(聚富小中学校特殊学級、望来海岸)(志賀)

2018.11.23 ビーチコーミング(厚田地域振興課、厚田港)(志賀)

2019.2.18 あつた古文書を読もう(厚田地域振興課、道の駅石狩「あいろーど厚田」)(坂本)

■研修受入

2018.08.09～11 初任段階教員研修(3年目研修)3名

③文化財関連事業について

■石狩市文化財保護審議会 開催状況

第1回 開催日 平成30年5月15日(火)午前9時～
会場 石狩市役所402会議室 道の駅石狩「あいろーど厚田」の見学
委員出席 5名

第2回 開催日 平成31年3月 5日(火) 午後1時～
会場 石狩市民図書館 研修室1

■埋蔵文化財保護にともなう協議・調査等

周知の埋蔵文化財包蔵地の有無に関する照会：81件（1月末現在）
埋蔵文化財保護に伴う事前協議：11件（※うち1件は昨年度からの継続）

■厚田区・浜益区文化財調査活用事業

北陸地方との交易の歴史を背景とした文化財調査のため、厚田区・浜益区内の神社仏閣の包蔵物調査を行った。

また、自然遺産の映像資料作成のため、厚田区の戸田墓苑の桜のドローン撮影を行った。
さらに、ユーカラの由来に関する調査を行った。

■史跡看板整備事業

昨年度から実施している浜益区の史跡「ハママシケ陣屋」の解説看板を追加で設置した。また、遊歩道の環境整備を進めた。

■厚田学・浜益学講座開催事業

厚田区及び浜益区に関する歴史・産業・文化・自然等の魅力について理解を深めるための講座を実施し、ガイドボランティアの育成を図るために、今までの講座で取り上げた内容のガイドファイルを作成した。

講座実績

- 2018.04.27 第6回「道の駅石狩あいろーど厚田見学調査」
- 2018.07.27 第7回「アイヌユーカラの地めぐりと厚田水彩画展」
- 2018.08.30 第8回「北海道開拓の村 How to ガイド講座」
- 2019.03.27 第9回「ガイドファイル完成報告会」（予定）

■石狩郷土研究会補助事業

石狩郷土研究会の運営費に対し補助金を支出した

■鮭の博物誌刊行事業

平成26年度から29年度まで4年間をかけて、鮭のまち石狩として、鮭にまつわる歴史や文化、自然の事物等を集大成し、市内外に発信する「鮭の博物誌」を刊行する予定であったが、外部執筆者による原稿に比べ、市教委が担当した「鮭にまつわる本市の歴史文化」に関する記述が極めて不十分であることが判明した。このため、予算を1年繰り越して平成30年度中の刊行を目指したが、更なる検討の結果、資料の編さん作業などに相当の時間が必要であり、1年間の事業延長をしても完結の見通しが立たないと判断されたことから、刊行を一旦見送ることとした。

■石狩小学校校舎利活用検討委員会について

来年3月に廃校が決まっている石狩小学校の校舎の利活用に関し、今年度から検討委員会を立ち上げ、今後の利活用について検討している。

・検討委員会の概要

定員 10名

任期 平成30年6月から平成31年10月

構成 ・学識経験者 6名

(うち文化財保護審議会から村山会長・百瀬副会長が委員として就任している)

(その他 考古学・教育学・地質学・建築史に造詣の深い方が就任している)

・地域代表 4名

・アドバイザー 1名(建築関係有識者)

・検討委員会の開催状況

今年2月までに5回開催し、利活用原案を作成した。

今後は利活用原案について意見募集と地域説明会を行い、得られた意見・要望を検討した上で、来年度前期中に答申する予定となっている。

■その他

2018.05.24 文化庁が認定する日本遺産の「北前船寄港地・船主集落」に、石狩市の次の文化財群が追加認定された。

- ・旧長野商店
- ・金大亭
- ・古潭神社のみこし
- ・厚田神社の船絵馬

MEMO
